



安佐町の魅力再発見

《自然・景観》

現在も山林が8割近くを占める安佐町は自然豊かな地域です。青い空、澄んだ空気、清らかな水にいつでも触れることができ、四季折々にはいろいろな景色を楽しませてくれます。



里山の原風景 一年中が絶景

棚田 (安佐町各地区)

山々の傾斜を利用した棚田は、小河内川を挟んで両側一体に広がる小河内地区(写真左)と、鈴張明神峠にさしかかる一帯に鈴張川を挟んで両側に広がる鈴張地区(写真右)の他、安佐町各地で見ることができます。田植えから稲刈りまで、鮮やかな緑から黄金色に変わる景色、収穫後の雪景色など年間を通して楽しめます。



幻想的な光の演舞

ホタル (安佐町各地区)

安佐町を流れる太田川の支流には澄んだ水が流れ、花崗岩が浸食されてできた砂や小石が堆積した川底にはホタルの餌となるタニシやカワナもたくさん生息しています。5月後半から6月中旬にかけ、町内各地の川で光を灯しながら飛び交うゲンジボタルの幻想的な夜景を観賞することができます。



山々に囲まれ 自然を身近に

宇賀峡 (久地地区)

久地地区にある宇賀峡は広島県の秘境とも言われる景勝地で、太田川支流の高山川上流にあります。季節ごとに咲く山野草やヤマメ釣りなど、ハイカーや釣り人の人気が高い峡谷です。緑豊かな山々に囲まれ自然を身近に感じることができます。



時代を見続けてきた巨木たち

大エノキ (宮野地区)

宮野地区の宮野八幡神社の大エノキは、幹周4.2m樹高30mで県内第二位の巨樹と言われ市の天然記念物に指定されています。

ヤマザクラ (後山地区)

後山地区の巨大ヤマザクラ・エドヒガンは、日浦権現山の中腹に立ち幹周は約4.4m。3月下旬から4月中旬に満開時期を迎えますので、里山の春を感じられます。

千年杉 (久地地区)

久地地区の千年杉は、幹周は約12.2mで樹齢は推定600年から700年と言われています。岳山登山道の途中の傾斜地に見ることができます。



静寂に包まれ古に思いを馳せる社叢

養山八幡神社 (小河内地区)

小河内地区の養山八幡神社の社叢は、ツクバネガシ、ヤブツバキ、カヤなどの暖帯常緑広葉樹林で、1年を通して爽やかな風と緑に癒される場所。市の天然記念物に指定されています。

筒瀬八幡神社 (筒瀬地区)

筒瀬地区の筒瀬八幡神社の社叢は、アラカシ、タブノキ、ナナメノキなどの常緑広葉樹林で、時折り風に吹かれ葉と葉がすれる音が神秘さを醸し出します。市の天然記念物に指定されています。